

2026年女子体操日本代表選手の選考方法

I. 第54回世界体操競技選手権大会 (オランダ/ロッテルダム)

【選考大会】 (計4日間)

- ・体操天皇杯第80回全日本体操個人総合選手権 (以下、全日本個人。) 予選・決勝
 - － 予選上位 30 名が決勝へ進出
 - － 決勝終了後、上位 24 名がNHK杯へ進出
 - － 全日本個人 2 日間の合計得点を 1/2 にし、NHK杯の持ち点とする
- ・第65回NHK杯体操 (以下、NHK杯。) 1日目・2日目
 - － 1日目、2日目ともに全日本個人決勝進出者 24 名が出場
 - － 全日本個人による持ち点に、NHK杯 2 日間の合計得点を合算して順位を決定

【代表選手選出方法】 (計5名) ※国籍・年齢等の参加条件を満たす選手。

- ・代表① 個人総合による選出者 (4名)
 - － NHK杯上位 4名
- ・代表② チーム貢献得点による選出者 (1名)
 - － NHK杯出場者のうち、代表① (個人総合選出者 4名) との組み合わせでチーム得点 (下記参照。) が最も高くなる選手
 - － チーム貢献得点による選出者がいない場合は代表①次点者

【チーム得点算出方法】

- ・代表①の得点：選考大会 4 試合のうち、各種目上位 2 試合の平均
- ・代表②の得点：同 4 試合のうち、各種目上位 3 試合の平均
 - － それぞれ上記の得点を採用し、各種目ベスト 3 を算出

【タイブレーク規定】

- ・個人総合得点 (A~Cの順に順位を決定)
 - A: 4 試合のうち上位 3 試合合計得点が高い選手
 - B: 同、上位 2 試合合計得点が高い選手
 - C: 4 試合のうち最高得点が高い選手
- ・チーム貢献得点 (A~Cの順に順位を決定)
 - A: 4 試合のうち上位 2 試合の平均得点が高い選手
 - B: 4 試合のうち最高得点が高い選手
 - C: NHK杯個人総合得点が高い選手

【補欠選手】

- ・補欠① 個人総合次点者 (帯同補欠)
- ・補欠② チーム貢献得点次点者 (国内補欠)
 - － 代表②の次点者がいない場合は補欠①の次点者 (個人総合次点者)

【交代規定】

- ・ 代表①が欠場する場合は 補欠①と交代
- ・ 代表②が欠場する場合は 補欠②と交代
 - － 代表②が個人総合による選出者の場合は、補欠①と交代
 - － 代表②が欠場する場合に、補欠②が個人総合による選出者の場合は補欠①と交代

【その他】

- ・ 代表選手に怪我やコンディション不良が発生した場合、補欠選手と入れ替える場合がある。
その際は女子体操強化本部長の提案をもとに、選手選考会議で決定する。
- ・ 上記選考方法で順位が確定しない場合は、強化本部長の提案により選手選考会議で決定する。

以上。